

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成27年 3月26日

計画の名称	1 安心・安全で元気なまちづくり事業		
計画の期間	平成21年度 ~ 平成25年度 (5年間)	交付対象	行田市
計画の目標			

本市の公園は、昭和後期を中心に整備されたものが多く、公園施設（遊具等）は老朽化し、また、園路、トイレ、水飲み等は現行のバリアフリー基準に合致していない状況が見られる。一方で、高齢化の進展、市民ニーズの多様化、余暇時間の増大等から公園を取り巻く環境は大きく変化しており、障がい者・高齢者等がだれでも安心して安全に利用できる公園整備が急務となっている。

このため、平成21年度に公園施設長寿命化計画を策定し、事後的な維持管理から予防的な維持管理へ転換するとともに、市民参画・協働による計画的な維持管理を推進し、地域コミュニティの場として、だれもが安心・安全に快適に利用できる公園づくりをすすめていく。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化適合公園を9%（H20末）から25%（H25末）に向上させる。 ・遊具の更新達成率を26%（H20末）から64%（H25末）に向上させる。 		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	
都市公園のバリアフリー化適合率 = バリアフリー化適合公園数 / 市管理都市公園数	9%	20%	25%	
都市公園内の遊具の更新達成率 = 更新実施済遊具数 / 市管理都市公園遊具数	26%	49%	64%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	160百万円	A	156百万円	B	C	4百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.5%
-------	---------------	--------	---	--------	---	---	------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	平成26年度
社会資本総合整備計画の事後評価として行田市で実施	公表の方法
	市ホームページ及び窓口

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
1-A-1	公園	一般	行田市	直接	行田市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	公園施設のバリアフリー化・改築更新 37公園	行田市						156	
合計											156				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
合計															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
1-C-1	公園	一般	行田市	直接	行田市	健康遊具整備事業	健康遊具の整備 2公園	行田市						4	
合計											4				

